

県商 140 周年記念事業

県商校門改修 披露式挙行される

日中は残暑厳しいのですが、初秋を思わせる爽やかな風が、本日「県商校門披露式」を祝ってくれています。 素晴らしい青空の下で挙行されました。

日 時 平成29年8月31日(木) 9:30~10:00
場 所 母校 校門前

式次第

- 一 開式の辞
- 一 学校長挨拶
- 一 神商同窓会理事長ご祝辞
- 一 テープカット
- 一 閉会の辞

県商校門改修 披露式 《祝辞》

県商創立 140 周年記念事業の一環として校門の改修を手掛け、本日このように披露式が挙行されますことは同窓会にとりましても誠に喜ばしいことであり、この工事を施行いただきました谷工務店の皆様をはじめ、窓口となって頂いた母校藤井事務長様など関係各位に心より感謝申し上げます。

さて、昭和37年、星陵高校から分離独立してこの地に県商が誕生し、私は翌年の昭和38年に入学して参りましたが、残念ながら当時の校門については全く記憶に残っておりません。

そして、現在の校門は昭和60年に同窓会より寄贈したものであると聞いており、この度新設致しました校門につきましても同窓会は350名余りの会員の皆様から寄付を募り校門を改修し、140周年記念として母校に寄贈する運びとなりました。

これもひとえに多くの卒業生の皆さんの母校や後輩達への深い愛情と力強い支援が実を結び実現したものであり、新しい門柱や門扉、更には柵の一本、1本に及ぶまで後輩達を思う先輩の気持ちが刻み込まれており、卒業してからも私達先輩諸兄・諸姉は母校と後輩達を暖かく見守っていることを決して忘れないで頂きたいと思います。

そして、いよいよ明日から2学期が始まりますが、この新しい門をくぐって、益々勉学とクラブ活動や生徒会活動に励んで頂きますよう祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。

